

海中をデザイン

2 0 2 5

大都市圏横浜における環境再生型海藻養殖による
【おさかなの街づくりプロジェクト】

目次



01

おさかなの街づくり
プロジェクトについて

02

金沢漁港について

03

なぜコンブを養殖を推進したか

04

その他のPR活動



おさかなの街づくりプロジェクト

大都市圏横浜の海の中、コンブやワカメのカーテンの下で
おさかなたちが暮らしやすい街づくりを目指して。

海の環境問題への社会的関心が高まってきたことを機に、
共に取組み続けてきた金沢支所と2024年より更なるパート
ナーシップを強化。

また、幸海ヒーローズの活動に関心の高い八千代エンジニア
リング株式会社とともに更なるCO₂吸収源の回復や拡大を
目指しプロジェクト「おさかなの街づくりプロジェクト」を
立ち上げました。

おさかなの街づくりプロジェクト

体験型自然学習イベント「おさかなの街づくりプロジェクト」

- 2024年12月に子ども達を金沢漁港へ集め「コンブの種付け体験」
- 2025年2月には間引きしたコンブ根からそのままを入れた足湯を開湯
足湯に浸ってコンブを触ったり成長の途中観察を行いました。
- 2025年3月子ども達が種付けをした「コンブの収穫体験イベント」

現代では触る機会が減ってきている「コンブ」に触れたり、お話を聞いて危機感を感じづらい「環境問題」を少しでも身近に感じて、興味を持ってもらえることを目的とした取り組みです。

今後はコンブだけではなく、海苔やワカメなども体験型自然学習として取り組みを広げていく計画です。

おさかなの街づくりプロジェクト

● 2024年12月に子ども達を金沢漁港へ集め「コンブの種付け体験」



おさかなの街づくりプロジェクト
～コンブは海を元気にする!!
コンブの赤ちゃんをみんなで育てよう～

@kanazawagyokou_marine

開催日:2024年12月8日(日)
イベントスタート▶13:00～

会場:金沢漁港内作業場 (野外の屋根下で開催します)
神奈川県横浜市金沢区海の公園 9

1日の予定

12:30～ 受付スタート

13:00～ ①海のお話スタート
「環境について考えよう」
「コンブのすごさを知ろう」
②赤ちゃんコンブの種付け体験
③海にまつわるゆるスポーツ
④みんなで海の絵を完成させよう
「おさかなの街を描いてみよう」

15:00～ 終わりの会

※屋敷があるので雨天決行予定です。

楽しみながら環境問題について学ぼう!
「おさかなの街づくりプロジェクト」は温暖化防止に効果が
高いとされるコンブをみんなで育てながら環境学習を行う
活動です。今回、種付けをしたコンブは来年2月の「海産物
フェスタ」にて成長の途中観察、
3月からの水揚げで実際に収穫体験
イベントの開催を予定しています。

【主催】 東海ヒーローズ **【協力】** 大塚建設工業株式会社 **【協力】** 横浜エクスセレンス
【共催】 横浜市漁業協同組合 金沢支部 夢楽建設工業株式会社 横浜エクスセレンス
公益財団法人横浜市スポーツ協会 横浜ビー・コルセアーズ 横浜エクスセレンス
八千代エンジニアリング株式会社 式洋建設株式会社 新築建設株式会社
【協賛】 神奈川県横浜 金沢区役所 虹のあそび場 3LMA さん

「イソヤケってなんだろう？」体験型自然学習プロジェクト
「おさかなの街づくりプロジェクト」3つのポイント

1 楽しく!聞いて学ぼう!!
「東海ヒーローズ」代表「コンブ
王子」こと宮本さんと八千代エ
ンジニアリング株式会社による
「環境と海のお話」。

2 いっぱい触って!種付け体験やヌルヌル体験
「海を元気にするヒーローコンブ」
の赤ちゃんの種付け体験! (こ
まなコンブや海にまつわるゆる
スポーツなどもあり)

3 おさかなの街をみんなで描こう!
「おさかなの街づくりプロジェクト」
ではコンブの種の下に海の絵を
描いておさかなの街づくりを計画す
る。参加者の皆さんが描いた絵を
コンブの種に貼っていきます。

「コンブ」が触ったことある??
種付け～収穫までを体験しながら環境活動!!

イベント会場
●横浜市金沢区にある金沢
漁港内で開催します。
●会場は屋外ですが大きな
屋根の下です。
●雨天決行予定。風が強い場
合は風よけを設置予定です。
●種付け体験は会場に小さい
プールを設置して行います。
●公衆トイレあり。

参加について
●小学4年生以下は必ず保護者
同伴でご参加ください。
●申込が必要です。
●参加料
4歳未満: 無料
4歳～19歳未満: 500円
子ども同伴の保護者+500円
大人(19歳以上): 1,000円
※参加料は開催費用や養殖コンブの
設置費用に使用させていただきます。

申込みについて
●チラシ内お申込みフォーム
QRコードより保護者の方より
事前登録・決済をお願いいた
します。
●申込締切: ~2024/12/7
●定員は約100名程度を想定
しておりますが、定員に達し
た時点で締切とさせていただきます。

大人だって環境活動したい!!
当日は「おさかなの街づくりプロジェクト」や「東海ヒーローズ」を
応援してくれているスペシャルゲストにご参加いただけます!!

**大人12/8試合の横浜エクスセレンスから選手や
スタッフが参加予定! 当日(12/8)試合の横浜
ビー・コルセアーズや横浜エクスセレンスから
関連グッズのプレゼントが当たるかも!?**
※抽選で5名程度に当たる可能性があります。
※抽選は当日の抽選会で行われます。

アクセス
〒236-0013
神奈川県横浜市
金沢区海の公園 9
最寄り駅:
「野島公園」から徒歩7分
※金沢漁港内の正門入って
正面の屋根下

漁港内の駐車スペース
は使用できません。
近くのコインパーキング
をご利用ください。

MAP▶



おさかなの街づくりプロジェクト

- 2025年2月には間引きしたコンブ根からそのままを入れた足湯を開湯
足湯に浸ってコンブを触ったり成長の途中観察を行いました。



おさかなの街づくりプロジェクト

●2025年3月子ども達が種付けをした「コンブの収穫体験イベント」



↑福祉施設向け収穫イベントも開催

金沢漁港について

神奈川県横浜市金沢区にある金沢漁港では、かつて横浜の海の恵みはとても豊かで、海辺の人々は漁業を中心とした暮らしを営んでいました。獲れる魚は鯛やヒラメ、タコ、クルマエビなど、また海に潜りさまざまな種類の貝を捕っていました。六浦（金沢区）や平沼（西区）などには塩田が作られ、塩作りもおこなっていました。また、磯子や金沢の海水浴場は夏休みになると、たくさんの子供たちで賑わいました。このように海は人々の信仰やまつりの場でもありました。海に祈り、海に厄や汚れを流し、海の中で御輿（みこし）を担ぎ、祝いました。

しかし、昭和30年頃からの高度経済成長期をきっかけに東京湾の開発が進むとともに臨海エリアの埋め立てが進み、金沢区で漁獲量の多かったシャコ漁も水産資源の保護を理由に禁漁になっています。かつて景勝地として知られた金沢八景は、複合型海洋レジャー施設が造成されるなど大きく変貌しました。

現在、危機的状況と言われている気候変動はこうした都市開発などによる、地形の変化や高度経済成長期による環境汚染などが原因と言われています。漁獲高が減少していったことにより、金沢漁港では漁師業を兼業として船宿を営んだり、農業も行う漁師さんが増えています。



↑ 昔の金沢 「金沢の塩田」 横浜開港資料館より



↑ 現代の金沢 「今の金沢 昔の金沢」 横浜市金沢区より

なぜコンブ養殖を推進したのか

食用だけでなく、非食用としてのポテンシャルの高さ

→効率良くCO₂吸収をするだけでなく、養殖後は余すところなく商業化出来る上、北海道ブランド昆布とは差別化した食用コンブのブランディング、また非食用分野での利活用では幅広い市場展開が可能。

和食離れや漁師業の高齢化、「コンブ」自体の消費量の低下にも危機感を感じ生産に留まることなく、コンブの特徴を活かして利活用を展開し、コンブ自体の消費量を増やすことで必然と養殖量が必要となり、海も豊かにするという社会性のあるサーキュラーエコノミー活動を展開が可能になります。そして、かつての漁師さんたちで賑わう横浜の海を取り戻すことを目指します。

また、出口のある養殖活動のフォーマットを作り、様々な漁港へ横展開をすることでコンブ養殖でのブルーカーボン創出エリアの拡大が実現できるシステムを構築します。



4ヶ月で4m超えの脅威の成長力っ！！



漁港で体験することで環境問題をもっと身近に感じてもらう



非食用の代表的コンテンツ
銭湯で“こんぶ湯”



こんぶ湯後のコンブをお茶畑の肥料にするアップサイクルな取り組み

その他のPR活動

コンブ養殖量を増量する取り組み



企業へのアプローチ、
卸し(BtoB)やコラボ、
独自商品の開発

KOMBU DAY開催



環境について学び
実際にコンブを触ったり感じながら
養殖コンブの収穫作業

講師活動etc



子どもたちだけでなく、
国内外の学生たちへの講演活動
2024年10月 目黒区小学校
給食で採用

目指したいこと

海を豊かにするための継続的活動
海を守る、海を育てる、海をデザインする